

農林水産省 食料産業局長賞

NPO法人 ALIVE LAB(アライブラボ) 徳島県北島町(きたじまちょう)

食を育むから、人を育むへ

組織概要

- 代表者 代表 上田 啓人 ○所在地 徳島県板野郡北島町
○構成員 生産者30名 消費者500名 大学生等50名 ○活動開始年 平成20年



表彰理由

- 徳島県の糖尿病死亡率が全国ワースト1という調査結果に問題意識を持ち、「自分達のような若い世代から健康づくりをしなければならぬ」という思いから、健康を通して徳島を元気にすることを目標に、健康運動指導士、管理栄養士、理学療法士、看護師のメンバーが中心となり、平成20年にNPO法人を設立した。
- 運動と食育の2本柱で活動する中、食育事業の一貫として地産地消にも取り組んでいる。健康づくりには「継続性」が大切という観点から、「家族」を対象とした楽しい食育事業を活動の中心に据えている。
- 健康づくりという視点から地産地消にアプローチし、若者がリーダーシップをとりながら地域の生産者を巻き込み、家族を対象とした食育・健康プログラムを提供することは、先見性と将来性のある活動として期待できるものである。

取組内容

1. キッズファーマープロジェクトの企画・実施

農産物の植え付けから収穫・加工・販売まで一貫した体験を行うプログラムを企画・運営する。稲作では田植えから田んぼの管理、稲刈りまでを体験し、収穫した米で味噌づくりまでを行う。いずれも地元の農家や漁師、加工業者、行政(徳島県徳島市)、大学生と連携して進めている。これらを小学生を含む家族を対象に、1年間を通して体験してもらう内容としている。子ども達の食に関する関心が高まることで保護者の食行動も変化することが体験後のアンケートから明らかとなっている。初年度(平成23年度)は徳島市農林水産課との協働事業として助成を受けて実施したが、24年度からは参加費と収穫物の販売体験の収益で運営している。

2. 地産地消のチカラの企画・実施

野菜栽培などの農作業から漁業・加工体験、「食」とは切り離せない農具・調理道具の製作等各体験を通じ、徳島のホンモノのチカラに触れる地産地消体験プロジェクト。小学生を含む家族を対象に実施する。このプログラムの実施が、農家や漁師が消費者に安全・安心なものを提供するモチベーションにつながっている。

- (例)漁業のチカラ:ハモ漁、地引き網漁、出荷場見学、魚介の試食
加工のチカラ:魚・野菜の加工場見学(蒲鉾工場)
道具のチカラ:農具の制作、調理道具研ぎ、味噌づくり見学 等